

「水の大切さ・恐ろしさ」

志學館中等部 二年 本坊ほんぼう 昂士たかのり

僕は、「水」は人間にとって大切に恐ろしいものだと思います。大切な理由と恐ろしい理由について説明します。

まずは、大切な理由を二つ紹介します。一つ目は、人間は体の約六十パーセントが水分でできています。水分が足りなくなると、脱水症状などで体に害を及ぼし、酷くなると死に至らしめます。二つ目は、衛生面です。手を洗ったり、料理に使う食材を洗うために水を使います。しかし、この水がなくなると衛生的に悪いご飯を食べないといけません。このようなことからお腹が痛くなったり、食中毒になったりして、苦しい思いをします。

次は、恐ろしさについて紹介します。

一つ目は、水は固体・液体・気体へと色々な姿に変わることが出来ます。この中で一番固体が危険な気がします。最近よく「ひょう」が降ってきたニュースを見ることがあります。

つい先日（四月二十五日）中国広東省で卵く  
らいの大きさのひょうが沢山降り、家の屋根  
や車の窓が割れるなど、大きな被害があった  
とニュースで見ました。それが人に直接当た  
れば大けがをするし、割れた窓ガラスが飛ん  
できて大けがをすることもあるので、考える  
と恐ろしくなりました。二つ目は、汚水です。  
水などあまりない所で海や川の水はとても貴  
重です。しかし、ごみや洗剤などにより汚水  
になってしまいます。この汚水を飲んでしまっ  
たら、命を落としたりすることもあります。  
僕はこのような汚水の話が学校で沢山聞いて  
きたことで色々と考えてみました。まずは、  
水を支給するのは、何回も行かないといけな  
いので、一家族一台浄水器を無償で設置する  
のはどうかと思いました。浄水できるほどの  
水ではない場合は、その場所の近くにゴミ処  
理場を作り、ごみを海や川に流さないように  
する方法もあります。この二つの方法で水が  
飲めるようになるかと考えました。三つ目は、

地球温暖化による海面の上昇です。地球温暖化により南極の氷が溶けてしまうと予想されています。「あれ？北極は？」と思っただ人もいます。北極と南極には少し違いがあつて、北極は海に浮いている大きい氷で、南極は島にできた氷です。これではまだわかりにくいと思うので、簡単に説明します。飲み物を入れたコップに氷をいれて、その氷が溶けても飲み物の量は増えないのと同じで、北極の氷が溶けてもあまり海面上昇に影響はないと考えられます。しかし、南極は島の上に氷があるので、それが溶けると海面上昇にとっても影響します。今のところ四十〜七十メートル上昇すると予想されています。海面が上昇すると色々な場所が水にのみこまれてしまい、生物の生きる場所がなくなることもあります。のみこまれなかつたとしても津波は今よりも多く起こるようになり、危険が多くなります。また、水の量が増えるため降水量も増え、晴れの日が少なくなり、植物や動物があまり育

たなくなつてしまします。

このように、水には大切なことと恐ろしいこと、色々な長所や短所があります。今まであげてきた恐ろしいことが起きないようにするためには、水を「適切な量」「正しい使い方」で使用することが大切だと思います。現在一人あたり一日に使う水の量の平均は二百四十リットルです。お風呂で九十五リットルで、トイレで八十八リットル使っているようです。節水ができるところは節水をして、これ以上水を使わないことが大切です。海や川にごみなど汚れるものを捨てないことも大切だと思います。この二つを一人一人ができた水による恐ろしいことは起こる確率が減ると思います。

ぜひ、みんなで協力をして、世界の人たちがどこの場所でも「きれいで、安全な水」を飲めるようにしましょう。